

ELSAを使用した英語授業 in JHS

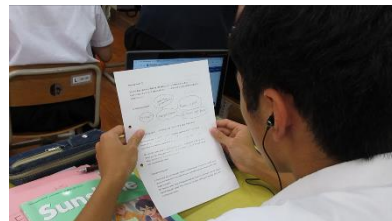
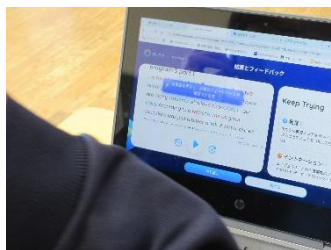
10月に市内中学校の英語の先生方の授業を見に行かせていただきました。ELSA for schoolが本市の中学校に導入されて、4ヶ月が経とうとしています。市内の英語の授業でELSAをどのように活用されているかをご紹介します。

【ケース1：教科書の新出語句の発音確認】

新出語句の発音をELSA相手に行っていた学校がありました。今まではペアになり、発音や意味を確認していた学校が大半だったと思います。ELSAを使うメリットとして、発音が分からないときはすぐに正しい発音を教えてくれることです。ペアであれば2人ともわからない場合、教師に正しい発音を聞くまでのタイムロスがあります。ELSAを使うとその時間がなくなり、自分のペースで発音確認ができることが良い点だと思いました。

【ケース2：本時で学習した本文の音読練習】

授業で内容理解した本文の音読練習でELSAを使用している学校がありました。これのメリットは、音読が終わったあとに自分の発音を1単語ごとに細かく評価してくれることです。評価も、色分けされていて、正確に読めた単語は青色で、間違った発音のところは赤色で示されます。単語を押すと自分の発音と、正しい発音を聞くことができ、その場で苦手な単語の発音練習ができます。



【ケース3：帯活動としてAIと会話練習を行う】

導入の10分を使って、AIと会話をさせている学校もありました。初めてやったときはなかなか会話が续かず、苦戦していた生徒もいたそうです。その際、会話を続けさせる表現を指導されたそうです。(Can you say that again? や How about you? やリアクションなど) そうす

ると、少しずつ会話が続くようになり、さらには自分が話したいトピックに誘導することもできるようになってきたようです。日々継続して、会話練習を行うことの大切さが分かりました。中学3年生の授業で見させていただきましたが、10分間ずっと止まることなく会話が続いていた生徒もいました。

【ケース4：A Iに話す内容を限定して意見をもらう】

こちらは非常にチャレンジングでクリエイティブな活用方法だと思いました。ケース3ではとにかく会話が続けることを目標としていましたが、こちらのケース4ではA Iに答えてほしい内容を限定して答えてもらい、生徒が必要としている意見を、より具体的にA Iに回答してもらう授業でした。生徒たちは聞き手が分かりやすいプレゼンを作成し、その発表練習としてE L S Aを使用していました。

A Iと話し始めたときに、

「私は中学校の授業で、海の生き物になりきって環境破壊についての啓発ポスターを作成し、プレゼンテーションをします。私はウミガメになってそのプレゼンを作成したので、聞いてみてどう思ったか感想をください。またこのプレゼンがよりよくなるように意見をください」と先に条件を伝えてから会話を始めていました。生徒の中にはA Iから教えてもらったアドバイスを参考に、プレゼン内容を推敲している姿も見られました。A Iプレイログをそのように活用する方法があったことに驚き、非常に勉強になりました。



ELSA新ダッシュボードになります！

E L S Aの教師用のページが新しくなります！各中学校の英語の先生方向けに新ダッシュボードの操作研修が行われています。新ダッシュボードになることで、生徒への課題作成が今までより容易になりました。また生徒のE L S Aの使用状況やスピーチアナライザーの結果も一目で確認できるようになり、より生徒の状況が把握しやすくなりました。

そして今回一番変化したのは、課題作成をA Iでできるようになったことです。例えば、「高知県公立高等学校入試レベルの長文問題の作成をしてください。設問は5問でお願いします。」とA Iにお願いすると、E L S Aが作成し、提案をしてくれます。ほかにも、「英検3級の音読練習をしたいのでいくつか音読課題を作成してください。」と言うとそれらを作成してくれます。この機能は今までになかったので、今後は英語の先生方のお役に立つのではないかと思います。